

## 令和7年度福島市保健所運営協議会 主なご意見・ご指摘等(要旨)

福島駅東口に新たに設置した喫煙所について、周囲への受動喫煙をふせぐための対策はどうされているか

(回答)

新たな喫煙所は閉鎖型であり、煙の毒性やにおいを浄化装置で除去してから外部へ排出する仕組みとなっている。定期的な点検や検査も実施予定である。

喫煙所の内部に禁煙に関するチラシやポスターを設置し、情報提供・啓発を行ってはどうか

(回答)

現在の喫煙所の内壁には啓発ポスターを設置している。新たな喫煙所に設置するポスターについても現在選定中である。

高齢者施設へのオンライン診療活用について、実績件数が2件と少ないのはなぜか

(回答)

施設側の抵抗感や運用方法の不確実さが普及の障壁となっている。特に緊急時の対応方針や入所者家族への説明に関する懸念から実行に踏み切れない施設が多いものと考えている。

オンライン診療の来年度の実施予定について知りたい

(回答)

来年度も今年度と同様に実施予定である。実施日数については活用状況をみながら費用対効果を考慮して検討する。また、現在は東京都内の医療機関が診療を行っているが、将来的には市内の診療所を中心としたオンライン診療体制も考えていきたい。

若年がん患者への助成金があまり活用されていないのは周知が足りないからか  
また、担当する先生(医師)から手続きに時間がかかると聞いているがあるが実状はどうか

(回答)

病院の担当部署には何度も案内をしており、必要な時に活用できる体制は整っている。また、助成対象者が窓口にいらっしゃった時点で支援をスタートする体制のため、手続きが遅いことはないが、改めて若年がん患者の医療を担当する先生への周知や情報提供を行っていく。

子育てを考える会について、具体的にどのような活動をしているのか

(回答)

地域の子育て支援関係機関が集い、各々が把握している課題や思いを共有し、どのような支援ができるかを考えている。

令和元年の※お達者度が県平均、全国平均より高かったことについて、その理由は分析しているか

(回答)

詳細な分析は行っていないが、市で継続してきた健康づくりの取り組みの効果もあると感じている。他自治体も含めた今後の動向を見ながら考えていきたい。

※お達者度：65歳時点の平均余命から、不健康な期間を差し引いた期間。65歳から平均してどれだけの期間日常生活動作を自立して行えるかを表している。